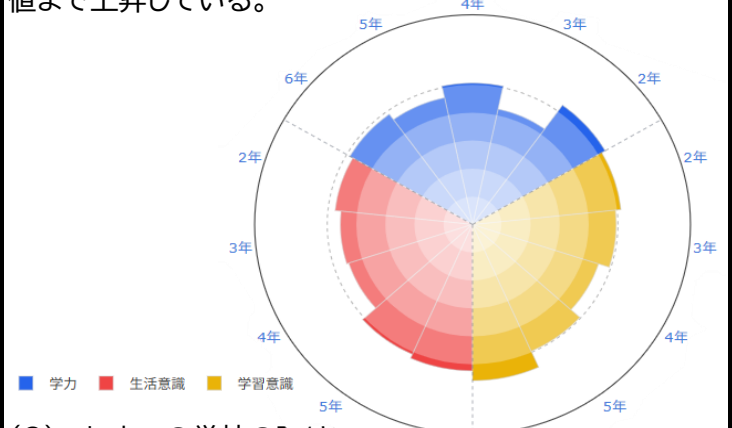


豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野		具体的取組
豊かな心		①年2回のYPアセスメントでデータを分析し、アセスメントを生かしたプログラムを実施する。その際、朝学習やなかよし活動、行事や学級レクなど、授業以外の場面でもプログラムも取り入れていく。また、個別のケース会議を通して個の見取りと支援を充実させ、児童の成長を促していく。 ②学級目標との関連を図りながら人権教育を進めたり、横浜こども会議や人権週間など、児童から発信する人権に関する活動を通して人権意識を高めていく。 ③児童から発信する継続的なあいさつ運動を実施し、あいさつに対する意識を高めていく。
担当	豊かな心部	

豊かな心に関わる本校の状況		今年度の目標
(1)豊かな心に関わる児童の実態 横浜市学力・学習状況調査から見える実態としては、学年により差はあるが、学力・学習意識・生活意識共に概ね平均を下回る傾向にある。学習が難しくなる中学年から学習意識や生活意識共に減少傾向にあるが、高学年になると平均値まで上昇している。  (2)これまでの学校の取り組み 特別支援教育では、クールダウンスペースや不登校傾向の児童のためのスペースの設置と活用を通して、安心できる環境づくりに努めた。また、YPを年に2回アセスメントを行い、子どもの変容を見取ったりプログラムを実施したりした。学習に関して困り感のある児童に対して取り出し学習(パワーアップタイム)を実施し、学習支援することで学力の改善と共に自己有用感の向上を目指した。 児童指導では、学校のきまりとして「別所の子」(ガイドブック)を作成し、持ち物や学校生活のきまりを明記し共通理解を図ることで、子どもたちが安心して過ごすことができるようにした。学級目標と関連させた人権教育を推進し、子どもたちの礼儀を大切にす態度や人権感覚を育む活動を行った。各クラスが交代であいさつ運動を行い、あいさつに対して意欲的に取り組む手だてを行った。年間3回のなかよし活動と年3回のなかよし活動ミニを行い、異学年交流の充実を図り、相手を思いやる心を育んだ。毎月の生活目標を朝会で確認し、全校で意識して取り組むことができた。		礼儀や規律を大切にし、相手を思いやる心を育てるとともに、社会性や自己有用感を高め、好ましい人間関係を築く力を育てます。また、自他を尊重し、人のためにすすんで行動できる人権感覚を育成します。
目標を実現するための具体的行動プラン		
上半期	・いじめ防止対策委員会や豊かな心部会で、定期的に児童の実態把握を行い、問題行動や困り感が見られる児童について情報を共有し、早期解決に努めるとともに、児童が安心して生活できるよう取り組むことに力を入れていく。 ・年度はじめにYPアセスメントでデータを分析し、子どもの困り感や学級の様子を見える化し活用していく。 ・短時間で取り組めるプログラムや児童の実態に合ったプログラムを定期的実施していく。 ・学級目標を達成するための人権の取組を掲示し、児童の変容を見取るなど、学級目標と関連させた人権教育を推進していく。 ・児童が発信するあいさつ運動を実施し、年間を通してすべての児童があいさつを自ら発信する活動を取り入れ、あいさつに対する価値に気づくように促す。 ・たてわり活動では、他学年のことを考えながら活動を考え計画を立てていく経験を通して、他者を思いやる心を育んでいく。 ・毎月の生活目標を設定し、子どもたち自らが自己の目標を立て、意欲をもって取り組めるようにしていく。 ・すべての児童に一貫した指導を行うために、別所の子(校内ガイドブック)を職員間で共通理解を図り、安心して学校に通える環境づくりに努める。	
下半期		